

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾相模大野		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成・共有・実践体制が非常に丁寧で、アセスメントやモニタリングを通じてニーズを的確に反映した計画が作成されています。職員全体で共通理解を図りながら支援が行われている点が大きな強みです。	活動プログラムが固定化しないよう、ミーティングでレクリエーション内容を検討し、季節や流行も取り入れた多様な企画を実施しています。	クールダウンスペースの確保やバリアフリー面の改善(段差対策など)を検討し、より安心できる環境整備を進めます。
2	保護者満足度が極めて高く、「夢門塾に通えて本当に良かった」「先生方に感謝しかない」といった声が多く寄せられています。安心感・楽しみ・満足度すべてが高評価です。	送迎時や面談を通じて、保護者との情報共有を密に行っています。コドモンやブログを活用し、活動の様子を写真付きで発信しています。	職員配置の安定化やヘルプ体制の強化を行い、時間帯による負担軽減を図ります。
3	日々の記録やヒヤリハット共有、安全管理体制が整っており、BCP・各種マニュアル整備・虐待防止研修などが継続的に実施されています。記録の徹底が支援改善につながっています。	ヒヤリハットの共有や昼礼での情報交換を徹底し、事故防止意識を高めています。安全計画もマニュアル化されています。	家族支援プログラムや保護者会の機会を増やし、保護者同士の交流機会を充実させていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数によっては活動スペースが狭く感じられることがあります。クールダウンスペースも十分とは言えないとの意見があります。	施設構造上、入口段差やスペース制限があり、構造的な改善が必要です。	スペース活用の見直しや移転検討など、中長期的な環境改善を検討します。
2	利用人数によっては活動スペースが狭く感じられることがあります。クールダウンスペースも十分とは言えないとの意見があります。	送迎体制や児童人数により、一時的に職員数が不足する場面があります。	シフト調整や職員増員により、安定した支援体制を強化します。
3	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）は現状十分に実施できていません。	家族支援や地域交流は、企画・調整・時間確保が課題となっています。	保護者会・家族向けプログラムを定期的で開催し、交流や学びの機会を増やします。